記入例

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

※下書き用紙に表示している内容は2023年１月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度

スカラネット入力下書き用紙

（大学院・法科大学院）

独立行政法人　日本学生支援機構

【用紙①】

本用紙は12ページ（A3サイズ３枚）により構成されています。
「奨学金案内」冊子、【用紙②】及び【用紙③】より外してご利用ください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「貸与奨学金案内（大学院）」（以下「奨学金案内」）を熟読し、申込内容を決めてください。

「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏　名	学籍番号	研究科の専攻のコード
奨学　太郎	L23M999	文学研究科真宗学専攻

← 学校からの指示がある場合のみ記入してください。

受付番号
※下書き時は記入不要です

← 入力が完了し**「送信」ボタンを押した後に、**受付番号が画面に表示されます。**必ず記入しておいてください。**太枠部分は、定期採用で申し込みした場合は「2」、緊急採用・応急採用で申し込んだ場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の2点は、必ず手元に用意してください。

- 学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- 奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子 11 ページに貼り付けてください。）
- （返還免除内定制度に申し込んでいる場合）申込完了画面のコピー等受付番号がわかるもの

スカラネットURL　https://www.sas.jasso.go.jp/
受付時間８：00～25：00（最終締切日の受付時間は８：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～１時間）

文字入力について

① 使用不可な文字
氏名は原則、住民票の記載とおりに入力してください。ただし、次の(ア)～(ウ)の留意点があります。
（ア） 旧字体・異体字等は、機構のシステム上登録できない文字があります。この場合、常用字体・通用字体で表示されます（吉→吉、祐→祐、廣→廣　等）。
また、旧字体・異体字等の一部、対応できない文字があります。エラーとなり先に進めませんので、常用字体・通用字体で入力してください。
対応する常用字体・通用字体がない場合は、ひらがなで入力してください。
（イ） 読み方を表す「カナ氏名」には、カタカナの「ヲ」は使用できません。「オ」と入力してください。
（ウ） 外国籍の人の氏名は、口座開設時に用いた住民票や在留資格証明書等の公的証明書類の記載をもとに、カタカナで入力してください。
・入力方法は下記②の（例）を参照してください。
・アルファベットの場合は使用できないため、カタカナに読み替えてください。
・（申込者本人のみ）銀行の振込口座が「名→姓」の順で登録されている場合には、例外的に振込口座に合わせて入力してください。

② 文字数の制限（本人氏名欄、生計維持者欄）
「漢字氏名」欄は姓・名それぞれ全角５文字まで、「カナ氏名」欄は姓・名それぞれ全角15文字まで入力できます。
制限文字数を超える場合は、入力可能な文字数まで入力してください（名前が途切れていてもかまいません）。漢字氏名欄は途中で入力を止め、カナ氏名欄でフルネームを入力してください。
※全角漢字氏名欄に６文字以上入力すると、エラーになり先に進めません。
カナ氏名欄は15文字まで入力できますので、フルネームを入力してください。

（例）奨学　トーマス　太郎
・漢字氏名欄　【姓】奨学　【名】トーマス太　（「郎」は切る）
・カナ氏名欄　【姓】ショウガク　【名】トーマスタロウ

← カナ氏名は必ず口座名義と同一にしてください。

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、1ページ「文字入力について」を参照して文字を入力してください。

ログイン

あなたの識別番号（ユーザ ID とパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。
(注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザ ID **※面談時に交付**　　パスワード **※面談時に交付**

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザ ID 欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

確認書兼同意書の提出

あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

・貸与申込条件等
・個人信用情報の取扱いに関する同意条項
※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

○提出しました。
○提出していません。

「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。
学校に「確認書兼同意書」を提出した後、再入力してください。

下の「規程等を表示」ボタンを押して規程等（保証委託約款を含む）を確認し、
了承する場合のみ、申込を行ってください。

規程等を表示

規程等の表示を行わないと、次の画面へ進むことができません。

※規程等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

□ 了承します

「了承します」にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

次　へ

規程等を表示し、「了承します」にチェックを入れると活性化します。

申込選択

申込む奨学金（1）又は（2）を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）
✔現在在学している大学院での奨学金を申込むことができます。

(2) 緊急採用・応急採用
×選択不可
過去1年間、主に家計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込むことができます。

学校で申込資格を確認してください。

1/8

A－日本学生支援機構奨学金の案内

・第一種奨学金
無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
・第二種奨学金
利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

緊急採用・応急採用の申込みをする人は、緊急採用・応急採用の案内文が表示されます。

B－誓約欄

日本学生支援機構理事長　殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「確認書兼同意書」及び必要な証明書類を提出しました。
奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日（和暦）　令和 [　] 年 [　] 月 [　] 日（半角数字）

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、成年判定を行います。

氏名（全角漢字）　姓：奨学（5文字以内）　名：太郎（5文字以内）

氏名（全角カナ）　ショウガク（15文字以内）　タロウ（15文字以内）

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。名前が長い場合は、入るところまで入力してください。（1 ページ「文字入力について」参照）

外字は使用しないでください。
（例）吉→吉、廣→廣、祐→祐

漢字氏名には「を」「ヲ」ともに入力できますが、カナ氏名に「ヲ」は入力できません。カナ氏名には代わりに「オ」と入力してください。

（例）漢字氏名　機構　かをる
　　カナ氏名　キコウ　カオル

姓・名欄ともに、「スペース」は入力しないでください（ミドルネームは名とつなげて入力してください）。

（例）奨学　ジョン　太郎
→奨学　ジョン太郎

生年月日（和暦）（半角数字）　平成 12 年 9 月 1 日生

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

<参考>

和暦	西暦	和暦	西暦
平成 5	1993	平成 10	1998
6	1994	11	1999
7	1995	12	2000
8	1996	13	2001
9	1997	14	2002

⚠ カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

国籍　☑日本国籍　○日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
リストにない在留資格（留学、家族滞在等）の方は申込みできません。

在留資格が「定住者」の場合、永住意思を選択してください。
○意思あり　○意思なし

注意！！
外国籍の人は奨学金案内８ページの表のとおり**申込資格に制限があります。必ず**在留資格を在留カード等で確認してください。
不明な点があれば学校担当者に申し出てください。

※誓約日は以後訂正することができません。

2/8

C－奨学金申込情報

(8)(9)(13)(14)を選択する場合は
余白に「貸与奨学金の種類変更」と朱書すること

※複数選択不可

1. あなたの希望する奨学金を１つ選択してください。

「奨学金案内」23ページの解説内容をよく確認し、希望する１つを選択してください。

(a). **第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ**記入してください。

- ○ (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- ☑ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). **併用貸与を希望する人のみ**記入してください。

- ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
- ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). **現在奨学金の貸与を受けている人のみ**記入してください。

- ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
- ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
- ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
  併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。
- ○ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
  併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

※(12) は欠番です。

【(8)、(9) を選択する人へ】
既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中（又は貸与予定）の予約採用者で
今回の申込みでもう一方の奨学金を申し込み奨学金の種類変更（第二種→第一種へ、又は第一種→第二種へ）を希望する予約採用者は、以下のように入力してください。
○予約採用の奨学生番号が決定している場合
→(8) 又は (9) を選択し、下の奨学生番号欄に予約採用の奨学生番号を入力する。
○予約採用の奨学生番号が未決定の場合
→(a) の (1) 又は (3) を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号　[　] [　] [　]
（半角数字）（例：822　06　999999）

(8)、(9)、(13)、(14)を選択した人は奨学生番号を必ず入力してください。

【(10)、(11) を選択する人へ】
既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中又は予約採用者で、今回の申込みでさらにもう一方の奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は (10) 又は (11) を選択してください。
○予約採用の奨学生番号（623 又は 823 から始まる奨学生番号）が未決定の場合、下の奨学生番号欄は入力不要。
なお、併用貸与を受ける場合は第一種奨学金の学力基準及び併用貸与の家計基準（「奨学金案内」９ページ参照）を満たすことが必要です。

【(13)、(14) を選択する人へ】
希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、**現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望**する場合は、(13) 又は (14) を選択してください。
○予約採用の奨学生番号が未決定の場合→(a) の (1) 又は (3) を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

D－あなたの在学情報

1. 大学院

(1) あなたの大学院名を確認してください。　(1) ××大学大学院

(2) あなたの学籍（学生証）番号を記入してください。

(2)（半角英数字記号） L23M999

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号に英数字以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

法科大学院の人は

(3) あなたは法科大学院の課程に在学していますね。○はい　○いいえと表示されます。

(3) あなたの在学している課程を選択してください。　(3) 修士・博士前期

(3)（4）はプルダウンに表示された中から選択してください。

(4) あなたの在学している研究科を選択してください。　(4) 文学研究科

(5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。

（注）専攻コードについては学校へ確認の後記入してください。　(5)（半角数字）記入不要

(5) 学校からの指示がない場合は未入力でかまいません。

(6) 年次を記入してください。　(6)（半角数字） 1 年次

(6) 下記に掲載の**＜入学・卒業予定年月早見表＞**を参照し、卒業年月に合わせた実質年次を入力してください。
(例)○一貫制博士課程の３年次
→３年次
○２年次休学のため３年次へ進学できなかった場合→２年次
実質年次がわからない場合は学校に確認してください。
長期履修課程に在学する人は、学校の指示に従い入力してください。

(7) 昼夜課程を選択してください。　(7)☑昼（昼夜開講含む）　○夜　○通信

(7) 通常は「昼（昼夜開講含む）」又は「夜」を選択します。

(8) あなたの入学年月を記入してください。

（注）入学年月（特に編入学者）は必ず学校へ確認の後記入してください。

(8)（西暦（半角数字４桁） 2023 年 4 月入学

(8) １年次に入学したときの実際の年月を入力してください。
なお、現在在学している学校に編入した場合は、編入学前に在学していた学校の１年次に入学したときの実際の年月を入力してください。

(9) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。

(9)（西暦（半角数字４桁） 2024 年 3 月修了（見込）予定

(10) あなたの修業年限を記入してください。　(10)（半角数字） 2 年 0 か月

修士・博士前期課程：2年0ヵ月
博士後期課程：3年0ヵ月

＜入学・卒業予定年月早見表＞

2023年４月現在　１年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
２年	2023/4	2025/3
３年		2026/3
４年		2027/3
５年		2028/3

2023年４月現在　２年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
２年	2022/4	2024/3
３年		2025/3
４年		2026/3
５年		2027/3

2023年４月現在　３年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
３年	2021/4	2024/3
４年		2025/3
５年		2026/3

2023年４月現在　４年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
４年	2020/4	2024/3
５年		2025/3

2023年４月現在　５年次

修業年限	入学年月	修了予定年月
５年	2019/4	2024/3

参考

(9) 通常は正規の修了予定年月を入力します。例えば新入生で２年課程の人は2025年３月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の修了予定年月ではなく、今現在の修了予定年月を入力してください（左に掲載の**＜入学・卒業予定年月早見表＞**を参照してください）。
なお、年度途中修了など特別な事情により、修了月が３月以外になる研究科に在籍する場合は学校に確認してください。

(10)「修業年限」とは、あなたの課程が何年課程のものかという意味です。
※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。
長期履修課程に在籍している場合も、修業年限はあくまで標準修業年限を入力します。長期履修については「奨学金案内」11ページを参照。

E－奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を１つ選択してください。　(1) 5万円

修士課程	5万円	8万8千円
博士課程	8万円	12万2千円

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。
貸与月額は「奨学金案内」６ページを参照してください。スカラネット入力時は、あなたの情報から判定された月額が表示されます。

一次採用（春）で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2023年4月（二次採用（秋）は2023年10月）となります。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

（注）所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) ○所得連動返還方式　☑定額返還方式

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」13～14ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。　(3)○はい ☑いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種・同一課程で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号 [　] [▼] [　]（半角数字）

過去に大学院の同じ課程の区分で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

E 一奨学金貸与額情報 1.（3）で「はい」と答えた人に表示されます。

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。

（注）制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与の制度を表示

□ 同意します

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。　(4)○はい ☑いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。

（半角数字）[　]

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。
基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

(5) あなたは「大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度」に申込みましたか。　(5)○はい ☑いいえ

「はい」と答えた人は、内定制度申込完了時の「受付番号」を入力してください。

（半角数字）[　]　－06GMN22－[　]

第一種奨学金の再貸与制度とは？

過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学校区分（下表［大学院の課程の区分］参照）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。「奨学金案内」11 ページも参照してください。

(注)過去に大学院で第一種奨学金の貸与を受けたことがない人や、修士・博士前期課程にて第一種奨学金の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合は、第一種奨学金の再貸与制度には該当しません。

［大学院の課程の区分］

区分	左の区分に含まれる課程等
修士課程相当	修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程（法科大学院を含む）、一貫制博士課程前期相当分
博士課程相当	博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 ※６年制薬学部に基礎を置く薬学系大学院博士課程（４年制）については、博士医・歯・薬・獣医学課程として取扱います。

法科大学院の人は
(1) で15万円を選択すると、
(2) 15万円の月額を選択した人のみ増額貸与を希望することができます。
あなたは増額貸与を希望しますか。
(2) ○４万円　○７万円　○希望しない
(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。
と表示されます。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を１つ選択してください。　(1) [5万円▼]

5万円	8万円	10万円	13万円	15万円

併用貸与を希望した人に表示されます。
併用貸与については、「奨学金案内」６ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、**「家庭事情情報」欄**に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

○はい　○いいえ

(2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

（注）奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(2) 西暦（半角数字４桁）[2023] 年 [4] 月

一次採用（春）に申込みする人は、**2023年４月～９月**のいずれかの月を選択してください。
3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2023年４月を選択してください。
二次採用（秋）に申込みする人は、

原則、2023年4月とします。
４月以外を希望する場合は、出願時に理由を申し出てください。
申し出が無ければ誤選択として扱い、４月に訂正します。

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

１年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1)○はい ☑いいえ

そのため、**すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。**
編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。
なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。「奨学金案内」10ページも参照してください。

(2)「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2)○10万円　○20万円　○30万円　○40万円　○50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1)☑利率固定方式　○利率見直し方式

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」12ページを参照してください。

3/8

F－あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字４桁） 2023 年 3 月 大学 卒業または退学

直近に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたはこれまでに日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与・給付を受けたことがありますか。

2. ☑はい ○いいえ

「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。

「はい」と答えた人は必ず奨学生番号を入力してください。
この欄には貸与が終了したもののみ入力し、現在貸与中のものは、*C－奨学金申込情報*に入力してください。
なお、採用取消となったものは入力しないでください。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

F－あなたの履歴情報 2. で「はい」と答えた人に表示されます。

奨学生番号 1 619 04 23456 削除 追加

半角数字 例

奨学生番号	1	611	04	999999	削除 追加
奨学生番号	2	618	08	999999	削除 追加
奨学生番号	3	809	01	999999	削除 追加
奨学生番号	4	814	02	999999	削除 追加
奨学生番号	5				削除 追加

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で２回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。
日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。 ☐確認しました

同一の学校区分で２回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

4/8

G－保証制度

1．あなたが希望する保証制度を選択してください。

希望する保証制度を選択してください。

☑（1）機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○（2）人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

併願又は併用で申し込み（2/8 画面にて、次の選択肢を選択した場合）、

(2) 第１希望：第一種奨学金　第２希望：第二種奨学金
(4) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）
(5) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第２希望：第一種奨学金
(6) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第２希望：第一種奨学金　第３希望：第二種奨学金
(7) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第２希望：第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

3ページ「*C－奨学金申込情報*」参照

1．第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

◉（1）機関保証

所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります。人的保証は表示されません。詳細は「奨学金案内」14ページを参照してください。

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

2．第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

○（1）機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

☐ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○（2）人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

☐ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

5/8

H－貸与奨学金返還誓約書情報

1．あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△　○○さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。（任意）　(2) 男

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。　(3) 成年判定

(4) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。

(4)（郵便番号）（半角数字）612 － 0000　住所検索

住所 1（自動入力）　京都府京都市伏見区○○町△丁目

住所 2（番地以降）(全角文字)　□番地◇号

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5)（半角数字）075 － 000 － 0000

携帯電話の電話番号を記入してください。　(携帯)（半角数字）080 － 0000 － 0000

B－誓約欄 で入力した姓名が表示されます。

B－誓約欄 で入力した生年月日により判定されます。

(4) 住民票に記載されている住所を事前に確認してください。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所１」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所２」には、**「住所１」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように**入力してください。
※下記の「住所の入力例」参照
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

G－保証制度 で「(1) 機関保証」を選んだ人

2．本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

G－保証制度 にて「(1) 機関保証」を選択した場合に表示されます。「奨学金案内」17～18ページを参照。

機関保証を選択する人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

注意！「本人以外の連絡先」の入力をする前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うことになります。

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字（全角漢字）	奨学	一郎
カナ（全角カナ）	ショウガク	イチロウ

(2) その生年月日　(2)（和暦）（半角数字）昭和 43 年 1 月 2 日生

(3) あなたとの続柄　(3) 父

(4) その住所　(4)（郵便番号）（半角数字）781 － 0000　住所検索

住所1（自動入力）　広島県広島市○○区○○町○丁目

住所2（番地以降）(全角文字)　○番地○号

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5)（半角数字）082 － 000 － 0000

その携帯電話の電話番号　(携帯)（半角数字）080 － 0000 － 0000

・海外の住所を入力することはできません。
連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。
・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所１」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所２」には、**「住所１」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように**入力してください。
※下記の「住所の入力例」参照
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所の入力例

（郵便番号）162 － 9999　住所検索 ←押下

注意！

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1（自動入力）
○東京都　新宿区　市谷本村町　1丁目
○東京都　新宿区　市谷本村町　2丁目
○東京都　新宿区　市谷本村町　3丁目

住所2（番地以降）　９９－９　機構ハイツ ５０５

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所２欄に全角で「．（ピリオド）」を入力してください。

※住所２欄には、住所１欄の表示部分を入力しないでください。
上記例の場合、住所１欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「１丁目９９－９･･･」と入力した場合、届出内容は「１丁目１丁目９９－９　･･･」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

G−保証制度 で「(2) 人的保証」を選んだ人

3．連帯保証人と保証人について

*G-保証制度*にて「(2)人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」19～21ページを必ず確認してください。

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
・未成年者等保証能力がない人は認められません。
・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名　　姓　　名
(a) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)

(b) その生年月日　(b) (和暦) (半角数字)　年　月　日生

(c) あなたとの続柄　(c)

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字)　住所検索

・海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。
・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所１」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所２」には、**「住所１」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように**入力してください。
※7ページの「住所の入力例」参照
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所１ (自動入力)
住所２ (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)
その携帯電話の電話番号　(携帯) (半角数字)

(f) その勤務先　(f) (全角文字)
勤務先電話番号　(半角数字)

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

□ 無職

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

(2) 保証人について入力してください。

・原則として、４親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
・未成年者等保証能力がない人は認められません。
・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名　　姓　　名
(a) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)

(b) その生年月日　(b) (和暦) (半角数字)　年　月　日生

(c) あなたとの続柄　(c)

あなたからみた続柄です。
（例）おじ、おば
※以下の場合は、「その他（知人等）」と記入（選択）してください。
・離婚により親権を失った父母
・養子縁組により親権を失った本人の実父母
・配偶者の父母
（「父（母）」や「その他（４親等以内）」を選択しないでください。）

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字)　住所検索

・海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。
・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所１」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所２」には、**「住所１」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように**入力してください。
※7ページの「住所の入力例」参照
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所１ (自動入力)
住所２ (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)
その携帯電話の電話番号　(携帯) (半角数字)

(f) その勤務先　(f) (全角文字)
勤務先電話番号　(半角数字)

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

□ 無職

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。　(g) ○はい　○いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（***B−誓約欄***で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

6/8

Ⅰ－あなたの所得情報

収入計算書の内容と一致させてください

1. あなたの収入について該当する項目を記入してください。

（1）定職・アルバイトについて該当する項目を記入してください。

		勤務先（全角）	職業（全角）	収入金額（年額・税込） 前年（半角数字）	収入金額（年額・税込） 本年見込（半角数字）	本年見込 就労時間（半角数字）
定職	1.			万円	万円	
	2.			万円	万円	
アルバイト	1.	個人宅	家庭教師	50 万円	60 万円	週当たり 15 時間
	2.			万円	万円	時間
	3.			万円	万円	時間

父母等からの給付額（年額・税込） 50 万円 / 70 万円

奨学金（現在申込中のものは除く）（年額・税込） 64 万円 / 0 万円

その他の収入（内容）（全角20文字以内）（年額・税込） 貯金の切り崩し 30 万円 / 0 万円

（2）定職又は週21時間以上のアルバイトに従事している人のみ記入してください。

（a）退職・休職もしくはアルバイトの週当たり就労時間を21時間未満に減少する意思がありますか。

(a)○あります　○ありません

（b）「あります」と答えた人はその予定時期を記入してください。

（b）西暦（4桁）　年　月　日

（3）配偶者のいる人はその氏名及び年齢を記入してください。

（3）氏名　姓　名

年齢　歳

（4）配偶者の収入状況（定職収入のみ）を記入してください。

	勤務先（全角）	職業（全角）	収入金額（年額・税込） 前年（半角数字）	収入金額（年額・税込） 本年見込（半角数字）
給与所得の場合			万円	万円
給与所得以外の場合			万円	万円

2. あなたの特記情報について記入してください。

災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

Ⅰ－あなたの所得情報については、「奨学金案内」26～29ページを参照のうえ入力してください。

（1）**基本的に前年の収入のみを入力してください。**ただし本年見込の収入金額が、前年に対して変動する場合に限り、前年の収入に加えて本年見込の収入金額も入力してください。

○**前年の収入金額と本年見込の収入金額とで増減がある場合**は、本年見込の収入金額で選考します。

※緊急採用・応急採用の申込みをする人は、前年欄に家計急変前の収入金額を、本年見込欄に家計急変後の収入金額（年収見込）を入力してください。

預貯金の取り崩し等が該当します。

給与所得の場合は、源泉徴収票の「支払金額」を入力してください。

給与所得以外の場合は、確定申告書の「所得金額」を入力してください。

緊急採用・応急採用で申し込む場合、プルダウンから該当の災害を選択してください。

J－あなたの研究情報

1. あなたの研究題目（研究分野）を記入してください。(全角50字以内)（25×2）

別紙の添付でも可

2. あなたの大学院進学の目的と研究計画を記入してください。(全角400字以内)（25×16）

別紙の添付でも可

3. あなたのこれまでの研究内容（提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文等）について記入してください。
ただし、修士・博士前期課程1年および博士医・歯・薬・獣医学課程1年は記入の必要がありません。

(全角400字以内)（25×16）

別紙の添付でも可

K－家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。

注）緊急・応急採用の場合はできるだけ具体的に記入してください。

(全角200字以内)（25×8）

奨学金を必要とする理由を、８割（１６０字）以上記入してください。

あなたの研究情報
本項目に半角英数字や半角カナ文字は使用できません。
数式・記号を含め全角文字で入力してください。

「研究題目」が未定の場合、手がけてみたいと考えている専門分野を大別し、その概要を入力してください。

専門職大学院（法科大学院を含む）の１年の人も入力不要です。

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。特に、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「いつ」「どういった事由で」家計急変したのか、事情をできるだけ詳しく入力してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

奨学金を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

チェック	奨学金を受け取れる口座は、下記６点の確認が必要です！
①☑	**あなた本人の**預・貯金口座ですか（あなた本人以外の口座は使用できません）。
②☑	銀行等の**普通預金**または、ゆうちょ銀行の**通常貯金**口座ですか。
③☑	**誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人（カナ）が同じ**ですか。
④☑	金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※１
⑤☑	この通帳は、**１年以内に記帳**できましたか。（＝休眠口座になっていない）
⑥☑	信託銀行、農協、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は、**振込みできません。**※２

※１　３か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。
※２　一部の信用組合は、振込みできません。

8/8

L－奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。　1. ○銀行等　☑ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

1
(1)金融機関名の読みの先頭１文字を選択してください。　(1)
(2)金融機関名を選択してください。　(2)

2
(3)支店名の読みの先頭１文字を選択してください。　(3)
(4)支店名を選択してください。　(4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3
2. 普通（総合）口座
確認のため、再度口座番号を入力してください。　確認用
半角数字

番号が７桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

3. 口座名義人を入力してください。
（口座名義人は本人に限ります）

4
3. 口座名義人（全角カナ）　姓　名

口座名義人欄の入力について（***B－誓約欄***で入力したカナ氏名と同一である必要があります）
※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。
※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。
※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』と『名前』をスペースなしで入力してください。

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

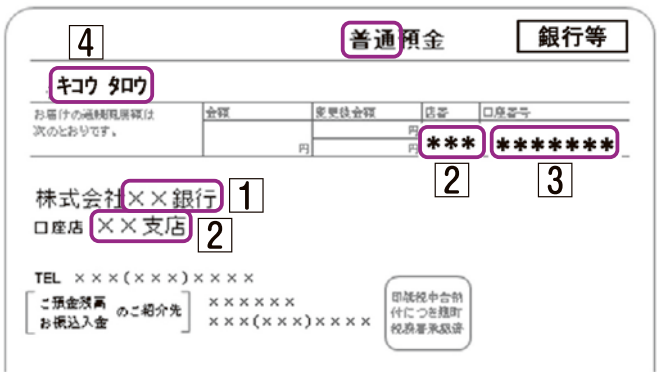
2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号－番号を入力してください。

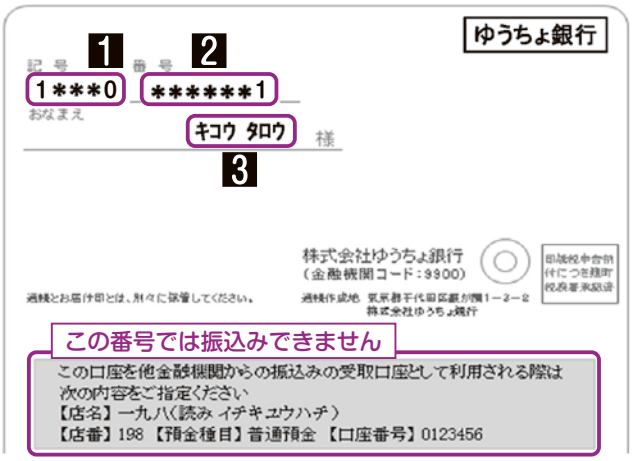
1 記号　2 番号
2. 記号－番号　12340 － 76543210

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。
※番号が８桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

確認のため、再度口座の記号－番号を入力してください。
確認用　記号 12340 － 番号 76543210
半角数字

3. 口座名義人を入力してください。
（口座名義人は本人に限ります）
3. 口座名義人（全角カナ）　姓 ショウガク　名 タロウ　3





記入内容を点検しましょう！

- □ 氏名は本名で記入しましたか？
- □ 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか？
- □ 収入・所得金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- □ 口座番号を正確に記入しましたか？（誤りがあると振込みできません）

重要
入力完了後に表示される受付番号を下書き用紙の1ページに記入してください。

貼り付け【通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー（A4サイズ）】

記入無効（定期採用では使用しません）

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙（大学院・法科大学院）

緊急・応急採用情報

家計急変の事由を1つ選択してください。

（注）(5) ～ (8)、(10) ～ (12) までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したもの。

（注）(15) は生計維持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

○ (1) 生計維持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
○ (2) 生計維持者が死亡したため。
○ (3) 生計維持者が離別したため。
○ (4) 生計維持者が破産したため。
○ (5) 病気
○ (6) 事故
○ (7) 会社倒産
○ (8) 経営不振
○ (9) その他生計維持者の給与収入が激減したこと等によるため
○ (10) 火災
○ (11) 風水害
○ (12) 震災
○ (13) 災害救助法適用者であるため。
○ (14) 学校廃止
○ (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。

2. 西暦（半角数字４桁）＿＿年＿＿月

3. 緊急採用（第一種）奨学金を申し込む人のみ、希望する貸与始期を記入してください。

3. 西暦（半角数字４桁）＿＿年＿＿月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

○ (1) 今後１年間の給与金額が収入基準額以下になるため。
○ (2) 年間の支出額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
（年間の給与金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。）
○ (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。
（家財復旧費、医療費等）

	事由	金額
	（例：台風による家屋の損壊）	
これまでに		万円
これから	全角10文字以内	万

※例えば、家計急変が2023年５月、申込が2023年８月の場合は以下の通り入力してください。

入力項目	該当期間	例
これまでに特別に支出した額	家計急変時～申込時点までにすでに支出した額	2023年５月～2023年８月
これから特別に支出が見込まれる額	申込以降～家計急変から数えて12か月後までに支出が見込まれる額	2023年９月～2024年４月

（注）
この情報欄は、申込画面においては7/8画面の***K－家庭事情情報***欄の後に表示されます。
緊急採用・応急採用の申込者のみ記入してください。

(9) その他上記以外の事由により給与収入が減少した場合選択してください。

（13）この事由により申込みをする場合は被災（罹災）証明書を学校へ提出する必要があります。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可）以降を選択してください。
休学、留年に相当する間を貸与始期にすることはできません。詳しい条件は「奨学金案内」７ページを参照。

応急採用（第二種）を申し込む人の貸与始期は、5ページ ***E-奨学金貸与額情報*** 2. (2) に記入してください。

上記1.（家計急変の事由）で (1) ～ (4)、(7) ～ (9) を選択した人は (1) を選択してください。(5) ～ (6)、(10) ～ (12) を選択した人は (2) を選択し、A欄を記入してください。
(13) ～ (15) を選択した人は (3) を選択しA欄を記入してください。

病気・事故・火災・風水害・震災により生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、学校の指示に従い認定を受け、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの支出見込額を入力してください。